



インスピレーションになろう

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2018～19年度会長 パリー・ラシン

第 2820 回例会 平成 30 年 11 月 9 日 (金)

- ◇ 点 鐘 神崎 誠 会長
- ◇ 国歌斉唱
- ◇ ロータリーソング 我らの生業
- ◇ 四つのテスト 矢島 紀昭 会員
- ◇ お客様

成田コスモポリタンロータリークラブ
金子 公久 様、滝澤 政樹 様



- ◇ ニコニコボックス



伊藤 隆治 会員：このたび、父が亡くなり皆様から多大なるお花、香典をいただきありがとうございました。遠い大分での式ではありましたが、祭壇の半分がロータリーの皆様方からのお花で埋め尽くされ、感謝の気持ちでいっぱいです。



平山 秀樹 会員：去る 11 月 6 日火曜日「ロータリー青年部」が開催されました。私も参加させていただきました。ところが、所用で途中で中座せざるを得なくなり「おつりはニコニコします」とお約束して 1 万円札を置いてきました。よって、本日お約束通りおつり分六千円をニコニコさせていただきます。楽しい懇談の場ですが、敢えて大企業にお勤めのロータリアンの方々の「本音」をお聞きしました。例えば、会社では何百人、何千人を率いる方でも、例会参加の最初の頃はどこに座るかわからなくて不安だったそうです。あるいは、米山、財団の 10 万円単位の寄付は「サラリーマンロータリアン」にはやはり荷が重いなどご意見をいただきました。真摯に受け止めたいです。なによりボンベルタの谷社長は「イオングループ 50 万人社員で 3 人しかいないロータリアンのうちの一人」だそうです。すごいですよね？



堀口 路加 会員：6 月の人間ドックで要精密になったところがあり、その後の検査と診察の結果、手術をした方が良くということになり 11 月 2 日に手術をして 11 月 6 日に退院してまいりました。50 代に 3 度の入院と 2 度の手術を受けるとは思いませんでした。元気な 60 代を迎えるために必要な事と考えています。何はともあれ、こうして例会に出席できましたことでニコニコします。



諸岡 靖彦 会員：先月は 誕生日、結婚記念月でありながら このホーム例会場に全く来られませんでした。これは、入会以来初めてのことです。ここ数日、滅多に体験することが出来ないような 感動に、いくつも出会いました。

10月19日は、千葉大学で340名ほどの学生さん相手に社会人の<キャリア・デザイン>について講義しました。11月2日は、「年輪経営」で著名な、寒天メーカー伊那食品工業・塚越 寛会長の講話を伺いました。3日、京都の老舗が年に一度の「お売り申さず、お褒めくだされ」の京洛趣会展（於 百万遍・知恩寺）を堪能しました。6日には、茶道・表千家の家元襲名記念茶会（於 京都紫野・大徳寺）と襲名披露晩餐会に出席する機会を得ました。

そして、5日には 4人目の孫が生まれました。待望の女の子でした！



石田 洋平 会員：11月8日、日ごろの接客スキルを客室乗務員が競う「第6回 OMOTENASHI の達人コンテスト」が開催されました。4人1組で出場するチーム部門と個人部門が開かれ、チーム部門は10チームによる予選を勝ち抜いた2チームが、個人部門は約8000人の客室乗務員の中から投票で選ばれた上位8人が出場しました。個人部門は入社5年未満（15年度以降入社）の「フレッシュヤーズ（ジュニア）」と、入社5年目以上（14年度以前入社）の「エキスパーティーズ（シニア）」を4人ずつ審査します。ANAの社長以下役員がお客様役として参加しました。テレビカメラに映っていたと言うことでニコニコいたします。

◇ 会長の時間

神崎 誠 会長

皆様こんにちは。朝晩寒さを感じ、紅葉のたよりが北から聞こえてくる季節になりましたが、皆様のご予定はいかがでしょう。

成田 CRC 金子公久様、滝澤政樹様ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

11月5日を含む1週間は、世界インターアクト週間です。IACとは、12～18歳の中高生が、地元でのボランティア活動や海外との交流を通じて、リーダーシップなどを学ぶことを支援するロータリーのプログラムで、日本には約600のIACがあり、さまざまな活動を行っています。インターアクトたちの活動は、ロータリーの友11月号P28からP29にも6例が載っていますのでご覧ください。

話は変わりますが、6日月曜日に、成田商工会議所サービス業部会で、都内視察研修に行っていました。最初は、東京証券取引所の東証アローズを見学、長原さん、小川さんとも一緒でした。テレビのニュースでおなじみのマーケットセンターの上をぐるぐる回るチックーは、1周50mの電光掲示板で売買が成立した順に株価が表示され、取引の状態が回る速さが変わるそうです。案内して下さった女性がクイズを出され、1兆円は1万円札を積み上げていくとどのくらいの高さになるのでしょうか、というもので、①東京タワーの高さ②富士山の高さ③飛行機の飛ぶ高さの3択でしたが、②富士山の高さが一番多い答



えでした。

また、昼食は浅草ビューホテルでフレンチ&洋食でとてもおいしいと皆さんが感激されていきました。成田ビューホテル経由で予約されると宜しいかと思ひます。

その後、読売新聞東京本社を見学、個人的には箱根駅伝の出発とゴールの地がここだと思ひ眺めていました。たまの都会見学は何か刺激がありました。

本日はホームミーティングの発表日です。ロータリーとは、ロータリアンとはに対するご意見を宜しく願いしまして、挨拶とします。

◇ 表彰

《個人表彰》

- ・米山功労者メダリナー
諸岡 靖彦 会員



◇ 委員会報告

- ・医療情報 橘 昌孝 会員

4週間前からインフルエンザがポツポツ出てきております。先々週は印旛郡全体で1名、先週は9名。これから急に増える可能性もありますのでご注意ください。予防接種は3週間から4週間たない効果がありません。今年は新型が出てくるかもしれませんので、対処には十分ご注意下さい。



- ・青少年奉仕 田淵 公敏 リーダー

例会終了後、委員会を開催します。議題は、日本ボーイスカウト成田第一団等広場利用者様の衛生設備支援プロジェクトの進捗の共有並びに今後の具体的な実施事項とスケジュールです。青少年奉仕のみならず、他の奉仕委員会の方、委員会以外の方もお時間がありましたら出席宜しく願いいたします。ひばりの間です。



- ・職業奉仕 長原 正夫 リーダー

11月30日(金)ガスの科学館での移動例会です。見学者35名。ビューホテルを10時出発、例会は車中で行いますので担当の委員会はよろしく願いします。11時に到着、1時間見学し築地で食事、そのあと豊洲を見学し午後3時に成田到着予定。参加者には後ほどファックスでお知らせします。いけない方はメイキャップをお願いします。



- ・社会奉仕 矢島 紀昭 リーダー

来週金曜日11月16日、例会終了後に委員会を開催いたします。



・ロータリー財団 諸岡 市郎左衛門 米山記念奨学・ロータリー財団委員長
米山奨学委員会から、寄付の報告です。角田幸弘会員、小寺真澄会員から、10万円ずつ寄付を頂きました。ありがとうございました。

◇ 幹事報告

平山 秀樹 幹事

【回覧】

- ・例会変更 富里ロータリークラブ
- ・週報 多古ロータリークラブ
- ・出欠表（職場見学移動例会、ゴルフ同好会）
- ・出欠表（ゴルフ同好会、空港周辺道路美化活動、温泉愛好会旅行）
- ・成田コスモポリタンロータリークラブより「創立 25 周年記念式典」登録開始時間および開会時間変更のご案内
- ・「ハンブルク国際大会」および 2790 地区、2580 地区共催「ガバナーズナイト」のお知らせ
- ・2019 年国際ロータリー年次大会（ハンブルク大会）参加旅行募集案内
- ・2018-19 年度「地区大会記念ゴルフ大会」のお知らせ
- ・職場見学移動例会 日程表



◇ ホームミーティング発表

テーマ「ロータリーとは何か」

・第 1 グループ

発表者 村嶋 隆美

去る 10 月 11 日に開催いたしましたホームミーティング第 1 グループでの話し合いの内容を発表させていただきます。

当日は、飯田会員、遠藤会員、山田会員、角田会員、伊藤隆治会員と私、村嶋の 6 名での和やかなミーティングとなりました。

今回のテーマは「ロータリーとは何か」でありましたので、既に言われている定義や先輩ロータリアンが表明しているロータリーとは何かというテーマについての考え方を参考にミーティングを始めましたが、テーマが大きいため、具体的に考えを絞りやすくするために成田ロータリークラブにおける親睦と奉仕について話し合いました。その中では様々な意見の交換や提言などがありましたので、その一端をご紹介します。

まず、親睦に関しては、成田ロータリークラブの例会は毎回規律正しく粛々と進められており、他のクラブからも参考にされたり、賞賛をいただいているところですが、親睦ということを見ると、もう少し砕けた雰囲気があってもいいのではないかと、例会で親睦を深めていく中で、様々な活動についてのアイデアや機運が生まれてくるのではないかと、この意見がありました。

そのことから、第 1 グループからの提案ですが、例会の中で、バズセッションを取り入れてはどうでしょうか。バズセッションは 1940 年代にアメリカの大学の先生が考案した話し合いの手法で、バズは巣の周りを飛ぶ蜂の羽音のことだそうです。少人数のグループ



で、蜂の羽音のように活発に話し合い、考えを出し合うという手法ということです。例会のテーブルごとに話し合う時間を設けることは、会員がお互いを知り、親睦を促進することに役立つのではないのでしょうか。

また、ベテラン会員からは親睦旅行の歴史的な推移、様々なトピックスをお聞きすることができました。親睦旅行が始まった頃は1泊2日のバス旅行だったことなどから、今後、期間や金銭的な負担を少なくし、皆さんが参加しやすい旅行を企画することも親睦促進の面で有効ではないかという意見がありました。

奉仕に関しては、ロータリークラブを通じた寄付や活動のほか、個人として行なっている活動もロータリアンとしての奉仕であり、会員によってはロータリークラブ以外での活動等の方が多くもおられて、それも大変意義のあることであることなどを話し合いました。

今回のホームミーティングも活発に意見交換が行われ、ロータリーに関する理解と会員間の親睦をさらに深めるものとなり、大変有意義な時間を過ごすことができました。以上です。ありがとうございました。

・第2グループ

まず、ロータリーとライオンズの違いは何かを話し合いました。

ロータリーは職業倫理の高揚を学びそれぞれの職業を通じて職業奉仕を重点に I serve を理念とした団体でライオンズは社会奉仕を重点に We serve を理念とした団体と捉えました。

昨今、ロータリーも We serve 活動も増えていると思います。

そこで当クラブにおいてのロータリーの話題になりました。

会員増強による原則1業種1人が緩和され5名までとなり、財力はよくなりますが、まとまりのあるクラブの運営が求められます。注目したのが親睦と出席率についてです。

会員数40~50名の頃は出席率は平均75%でしたが現在は70%をきっています。よってグループで出た意見を集約しました。入会して異業種のトップの集まりに刺激や新鮮さ、自分を磨くなどの期待があるものの、なかなかとけこめないことから親睦を深めることが重要であるということです。意見としては

- ・顧問制度の具体的実用化
- ・入会すぐの親睦歓迎会の実施
- ・少人数からの解け込みが必要なため、予算を計画的に活用して各委員会の頻度をあげコミュニケーションの拡大を図るなどです。

いつも取り上げられる内容ではありますが、現会長、エレクトノミニーへと継続的な取り組みとして頂ければということです。

ゆえに親睦あつてのロータリー、そして奉仕活動へ繋がるものとまとめました。最後に釣り同好会の話題で盛り上がりました。

現在は参加人数がすくなく釣った魚をさばいて会員と懇親を深めるほどの会になればと思います。

発表者 香取 竜也



・第3グループ

発表者 谷 直知

<グループディスカッションから>

・「世のため人のために」つとめるのがロータリアンの生き方だと思う。

・「利他の心」という言葉に象徴される、ロータリアンの価値観。

・「例会は人生道場」とも言われる。

→人生を豊かにする、誰かのために何かしたい、という気持ちが形になる

← ただの集まりではない。大きな意義がある。



・まず人の集まりであること。それはビジネスの機会でも実際はあるが、それを越えて、それ以外に、地域社会に対して貢献をする、利益還元をする、そういう集まり。

・しかし、問題は外から見ると何をやっているのか、分からないこと。

・原点には職業人の集まりという形態があった。それが独善に陥らないよう、途中から奉仕を考えるようになり、奉仕の理想を掲げたからこそ、ロータリーは大きくなった。（普遍的なもの）

・ロータリーの歴史をひもとけば、最初は自分たちの利益重視だったし、論争もあった。奉仕の理念は実はあとから追加されたものである。

しかし、だからこそ、リアルな人の集まりだと思うし、長年にわたり大勢の人を引き付けてやまないのではないか。

（はじめは自分のことだけ考えるが、やがて他人に目が向けられ、そして人のためになにかしたいと考えるようになる。）

ロータリーの歴史は、人間の成長の軌道と全く一緒ではないか）

（だから、ひきつけられる、人間的な側面）

（結論）

奉仕の理念がなければ、ただの人の集まりになってしまう。

奉仕の理想、理念こそがロータリーの本質なのではないか。

課題は、何をやっているのか、外部にしっかり発信すること

そして、奉仕を実際に行うこと。（行動する）

・第4グループ

発表者 小岩井 学

今回、「ロータリーとは何か？」という議題でメンバーの皆さんに意見を求めたところ、まず、皆さん口々に、ロータリーを一言で言い表すのは非常に難しいとのことでありました。

ロータリークラブのHP等を見ても、ロータリーについて、「ロータリーとは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の

道徳的基準を守ることがを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人及び専門職業人が世界的に結び合った団体である。」と書かれています。この文章をみて、私のような入会して間もない会員にはなかなか理解が難しいかも知れませんが、ロータリーを知らない人たちにはライオンズクラブなどの他団体との違いもわからないかも知れません。



今回のホームミーティングではメンバーの皆さんからの意見として様々なものがあり、主なものとして、

① ロータリーとは出会いの場である。

ロータリーでは色々な職業分類の職業人と出会うことが出来、ロータリーに加入しなければ知り合うことができなかった人たちと仲間になることができる。これは一生の宝となる。

② ロータリーとは常に勉強の場である。

例会に出席することで、他の会員の卓話や研修会を通じて自分の知り得なかったことを学ぶことができる。また自らが学んだことを実践することで、自分の生業に活かすことができる。

生業で収入を得ることで財団や米山奨学金などを通して社会に還元できる。

③ ロータリーとは自分を高める上で、最高の組織である。

ロータリーには様々な年齢層の会員がおり、地位などは関係なく個人個人のつきあいを通じて自己を高められる。

などの意見がありました。

以上の意見から、ロータリーとは、すべてにおいて公正平等であり、仲間を認め合い、尊重する中でその存在意義は大きく、ロータリー活動を通じての仲間づくり、親睦を深めることで自分自身を磨き、全ての会員がロータリアンであるというプライドを持ちながら職業人として奉仕の理想のもと、事業を通じて地域社会に奉仕、貢献することを最大の目的としている組織であると考えます。

あるメンバーの方がおっしゃっていた、「ロータリーは、愛してやまない最高の組織である。」との言葉がロータリーの意義を最もよく表現していると思います。

ただ、私自身はその域に達するまではまだまだ道のりは長いと感じておりますが、ロータリアンとしてのプライドを持って行動していきたいと思っております。

最後に、第4グループのメンバーの皆さんには熱心な議論、大変お疲れ様でした。

私自身にとっても大変勉強になりました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

ありがとうございました。

・第5グループ

発表者 諸岡 市郎左衛門

ロータリーとは？と聞かれてなんと答えるのか・・・一言で表現することは難しい。



初めにホームミーティングの由来について話があった。以前は、会員宅に招いて行ったとのこと。最近、今回のように外で開くことが主流となったと過去の開催について学んだ。

次にロータリーに入会するとは？について話があった。

ここにいるみんなは縁あって成田 RC のロータリアンとなった。ロータリーの基本は、『4つのテスト』にすべて含まれているのでは。とても重要であり、大切な言葉である。この4つのテストを実践していくことが基本である。

今の成田 RC で考えると石川年度で10名以上の新会員が入会した。女性会員も5名入会した。しかし残念なことであるが1名退会した。

成田 RC を活気ある会にするためには、やはり例会に参加し、時間を共有するとともに親交を深め、自社へ戻り、実践し、社会貢献につなげていくことが大事である。

例会を有意義な会にするために世代間のギャップをなくし、ただ食事に来る会ではなく、参加したくなるような会にしていくことが大切である。

お互いに尊重することによってさらに良い関係となり、お互いの仕事を通じて社会貢献していくことがロータリアンであろう。

・第6グループ

発表者 眞々田 美智子

ロータリークラブとは何か、という根本的な問いに対し、次のような意見が出た。

- ・ロータリーが他の団体と違うのは、職業奉仕を掲げるところであり、自分を磨いて職業的にも人格的にも成長する場である。自己研鑽が中心に据えられるのではないか
- ・ロータリーに対する考え方は長い歴史の中で何度か見直されてきた経緯があり、その時代で考え方が変わる面もある。もっとも、会費を払い、例会に出席し、ロータリーの友を読むという点は本質として変わらないのではないか。



さらに、今回の出題趣旨に、会員拡大を想定した際に、ロータリークラブの良いところを問われたらどのように回答すべきか、というポイントが含まれていたことから、この点については次のような意見が出た。

- ・ロータリーに入会しなければ知り合えなかったような人物と知り合うことができるのは非常に魅力的である
- ・4つのテストはロータリーの魅力を端的に表していると思う
- ・人によって答えが違って来る可能性のある問いであり、自分なりのロータリー観を作り上げてよいのでは
- ・皆が仲良く、親睦を深めることを第一に考えれば魅力的な団体になるのでは

そのほか、ロータリークラブの今後を見据えた意見も出た。

- ・会員拡大が叫ばれているが、安易な拡大は会員の絆を弱め、ひいては組織としての威厳や魅力を失わせることになりうる。近年、他の団体に比べ存在感を発揮しにくくなっているようにも感じるため、その理由を検討すべき。
- ・ロータリーは人によって実施することが違う。そこが魅力でもあるが、残すべき伝統を引き継いでいくための努力も必要である。

・第7グループ

発表者 齊藤 三智夫

第7グループは会長、幹事、パスト会長4名、会長エレクト、会員3名というそうそうたるメンバー構成でのホームミーティングとなりました。まずは、会長の挨拶として、入会歴の浅い会員の方々には、先輩方の話から広い範囲で「ロータリーの雰囲気」を感じてもらえるホームミーティングを目指して楽しんで頂きたい、もちろん入会歴の長いベテラン会員の皆様もテーマに沿ったお話しで楽しんで頂きたいという言葉いただきホームミーティングに入りました。あえて、ご了承をいただき、乾杯からのスタートです。



* 「R I」についてはおかしい点が多々見受けられる！

⇒ 以外？にも賛同者多数・・・

* 「C L P」もまだまだ改良の余地があるのでは？

⇒ 今日はホームミーティングです・・・又の機会がよろしいかと・・・

* ロータリーの発祥地がアメリカである事は言うまでもないお話しですが・・・
アルファベット並び過ぎな呼称ばかりでとにかく解りづらい！

⇒ 入会時誰もが感じたフラストレーションに間違いはないかと・・・

* 今回リーダー（齊藤）の私感と独断により発表はこの程度とさせていただきます。
皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

* 「R L I」について質問

R L Iに出席した会員が沢山いる成田クラブですが、R L I受講者が増えた事により「成田クラブはどう変わったのか？」皆さんそれぞれの見解を聞かせてほしい。 ←

⇒ クラブ内での若い人達が「意見」を言えるようになった。

これはロータリーに関する理解度が向上することにより様々な委員会活動や奉仕活動において、ただ言われた通りにするのではなく一歩踏み込んだ発言ができるようになったと感じている。

⇒ 「意見」とは個人々々が持っている理論や理念ではなく、ロータリー活動に参加する前向きなものを指していると思う。

⇒ そもそも第2790地区の基礎づくり（個々のスキルアップ）に最適ではないか？という考えの下に有志が築き上げて現在に至っている。他クラブに於いては会長・幹事エレクトの受講必須としているクラブも少数派ではあるが出てきている。

⇒ ロータリーの「リーダーシップを身につける」という色が濃いプログラムだと思う。ゆえにリーダーシップ育成に役立つプログラムであり、また、個人のスキルアップ（ロータリーは勿論の事、様々な面において）も効力を発すると感じている。



「これからの成田クラブにとってどれだけ役にたつか」
是非とも未来を見据えてほしい！

☆R L I 豆知識：実は「GETS」でもR L Iを取り入れていた。

今回のテーマ「ロータリーとはなにか？」に対し、参加者それぞれのアプローチがある中、不思議と「どうしたら新会員にロータリーを解り易く理解してもらえるのだろう？」という話しにたどり着いてしまいました。

そんな中、ロータリー・ロータリアンでは無いが相通ずる物を引き合いに出すことにより改めて「ロータリーとは何か？」と考えさせられるお話しが2つ出ましたのでご紹介いたします。

1) 1つめは橘会員が「笑医プロデューサー 相談役」として活動しております「成田市笑医健康の会」です。

「1日5回笑って、1日5回感動しよう！」を合言葉に、毎日笑って楽しく生きて行く事が治癒力となる免疫力を高める方法であるという「笑医」高柳和江（医学博士）著 「びっくりするほど健康になる！ 笑医力」という書籍が出版されております。元RI会長 田中作治さんの「例会は人生の道場」という言葉の意味の一つとして捉えられる物ではないかと思えます。

2) 2つめは近藤会員がご紹介して下さいました、山本素石著「己に薄く他に厚く」という書籍です。

こちらは当クラブ諸岡ガバナーエレクトの会社「米屋総本店」創始者：諸岡長蔵翁の伝記です。

諸岡長蔵翁が商売で得た利益を社会に「奉仕」という形で還元していくその具体例は薬師堂脇に公衆便所を設置したり、成田小学校へラジオと蓄音機を寄付したことや昭和8年に起きた三陸地震の被災者へ救援物資として玄米を発送したことなど、ロータリアンにとってはポール・ハリスを想起させる一冊です。

もしかしたら・・・故平山金吾PGの「身銭を切る訓練」という言葉が生まれた誕生秘話として、諸岡長蔵翁の志が多大に影響していたのでは？

などと勝手な憶測が働いたりもしてしまう、改めて「奉仕」という物を考えさせられる本をご紹介させて頂きました。

*こちらの山本素石著「己に薄く他に厚く」につきましては米屋本店裏にございます資料館にて販売致しております。

～雑感～

実は今回7グループのホームミーティングでは「乾杯」からスタート致しました。会食（アルコールも含）を楽しみながらのロータリー談義はとても有意義かつ楽しい2時間でした。ご参加下さいました会員の皆様へ感謝の意を表しますとともに又、このような機会に恵まれます事を願っております。ありがとうございました。

◇ 点 鐘 神崎 誠 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
71	69	41	28	59.42%	71.01%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
諸岡 靖彦 会員	11月5日	地区米山奨学委員会 面接者オリエンテーション
渡辺 孝 会員	11月7日	成田コスモポリタンロータリークラブ
諸岡 市郎左衛門 会員	11月7日	銚子ロータリークラブ
諸岡 靖彦 会員	11月11日	地区青少年交換委員会 交換留学生帰国報告会
諸岡 靖彦 会員	11月12日	千葉ロータリークラブ
高橋 晋 会員	11月14日	八街ロータリークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

10

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078